

2007年度

| | | |
|--|--|--------------------------|
| 科目名 心理学 A | 対象学科・学年 文学部日文 1回生 文学部英米 1回生 文学部文財 1回生 | 担当者 広沢 俊宗 |
| 授業テーマ 人間の行動と心理 | | |
| 授業の概要と目標 現代人の生活領域が拡大し、それに関わる要因も複雑多岐に渡っている。そういう中で人間の行動について考えることによって、その根底にある心の動きを解明していきたい。具体的には、「I. 心理学とは」「II. パーソナリティ」「III. 発達」「IV. 学習」の4つのテーマについて講義する。 | | |
| 評価方法 出席状況、受講態度、小レポートなどの平常成績(20%)と期末試験(80%)をあわせて評価する。 なお、授業を1/3以上欠席すると、期末試験の受験資格を喪失するので注意すること。 | | |
| テキスト 『ワークショップ 心理学』 『JOHO—CAB 検査』 | 著者 藤本忠明他 適性開発研究会編 | 出版社 ナカニシヤ出版 情報センター |
| 参考書 | 著者 | 出版社 |
| 授業スケジュール・内容 1.心理学とは 心理学とはどのような学問かを、その研究領域の広さと様々な研究法から理解する。 2.パーソナリティ (1) パーソナリティとはどのようなものか、また、その形成—遺伝か環境か—について学習する。 3.パーソナリティ (2) クレッチマーの性格類型論をもとに、類型論の考え方を理解する。 4.パーソナリティ (3) CAB検査を体験することによって、特性論の考え方を理解する。 5.パーソナリティ (4) さまざまなパーソナリティの測定法について概観する。 6.発達 (1) 発達とはどのようなものを生涯発達の視点(女性のライフサイクル)から学ぶ。 7.発達 (2) 発達の原理について理解する。 8.発達 (3) 人間の一般的な発達段階と発達課題について学ぶ。 9.発達 (4) 青年期の意義と特徴について学習する。 10.発達 (5) 発達の諸相について学習する。 11.学習 (1) 学習とはどのようなものを遂行と比較しながら学習する。 12.学習 (2) 古典的条件づけのメカニズムを理解する。 13.学習 (3) オペラント条件づけのメカニズムを理解する。 14.学習 (4) 学習性無力感とはどのようなものを理解する。 15.期末試験 今までに学んだ内容の理解度を確認し、心理学について再考する。 | | |